

<NV200 バネット「チェアキャブ」車両概要>

NV200 バネット「チェアキャブ」は、車両後部のスロープから、車いすのまま車内に乗り込める車両である。コンパクトなボディサイズでありながら十分な室内空間を確保している「NV200 バネット」の特長を活かし、主に病院や福祉施設の送迎車や介護タクシーなど、法人向けの需要に適した多人数乗りの車いす仕様車とした。車いすの乗員を含めて6~7名が乗車することが可能である。2列目には専用形状シートを採用し、助手席側スライドドアから室内への乗降性を向上させたほか、乗降用手すりや電動式スライドステップなどを装備することで、車いすの乗員だけではなく、介助者や自力で歩行できる方にも乗降しやすい仕様とした。

なお、NV200 バネット「チェアキャブ」では、使い方や乗車人数に合わせて以下3種類の室内レイアウトを設定している。

●車いす2名仕様

2列目シートの位置とその後ろに、車いす2名が同時に乗車できる。車いす2名を含めて6名が乗車可能。車いすの代わりにストレッチャーで乗車することもできる。

●車いす1名仕様 専用サードシートなし

車いすは、2列目シートの後ろの位置に乗車する。車いす1名を含めて6名が乗車可能。介護タクシーなどとして事業用登録*ができる。

*: シートスライド規制、ラベル貼付などの追加架装が必要。

●車いす1名仕様 専用サードシートあり

車いすは、2列目シートの後ろの位置に乗車する。車いすの横にシート(専用サードシート)があり、介助者などが車いすと並んで座ることができる。車いす1名を含めて7名が乗車可能。

以上